

11/7

Fri

研究者 都筑彩花（旭ヶ丘中）

共同研究者 佐藤大樹
 （国立教育政策研究所 教育課程研究センター
 研究開発部 中学校英語 学力調査官（併任）
 教育課程調査官）

話すこと〔発表〕の力を高める複線型授業

生徒一人一人が学習の見通しをもち、必要な学び方を自ら選択して Unit Goal に迫る複線型授業に取り組んできました。7月の事前授業では、「興味のある職業を紹介して、クラスの仲間に自分のことをもっと知ってもらおう！」を Unit Goal として、話すこと〔発表〕の授業を行いました。そこでは、生徒それぞれが感じている課題に応じて、発表の内容をメモに整理したり、そのメモを基に友と発表し合ったり、必要な表現を見つけるために教科書を見返したりする姿がありました。一方で、メモをする際に一人一台端末を使って調べた英文をそのまま書き写したり、ペアで発表する際にはそのメモを読むだけになってしまったりする姿もありました。授業を振り返ると、私の中で「複線型授業を実現すること」が一番の目的になってしまい、本来の目的である「話す力を高めること」という意識が薄れてしまっていたように思います。

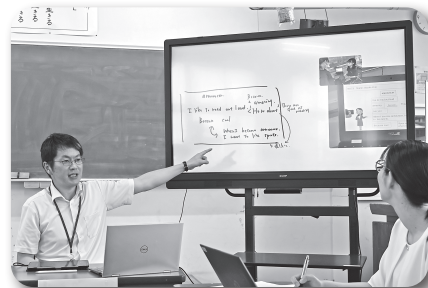
事前授業でご指導いただいたことを踏まえ、その後の授業では次の4点を意識して授業づくりを行っています。①ペアで発表する機会を増やす。②ペアで発表した後に、その内容が伝わったかを確認する時間を設ける。③単元の目標に沿った視点から全体共有を行う。④全てを生徒に任せるのではなく、教師が指導すべきことは指導をする。

11月の授業に向けて、話すこと〔発表〕の力を高めることができるように、上記の①～④を踏まえ、生徒一人一人が学習の見通しをもち、必要な学び方を選択して Unit Goal に迫る単元展開と複線型授業を構想していきたいです。



共同研究者 佐藤先生から

都筑先生は、話すこと〔発表〕の力を高めるために、生徒一人一人が見通しをもち、必要な学び方を自ら選択して単元の目標に迫る「複線型の授業」に挑戦されています。英語科の先生方、11月7日（金）、ぜひ旭ヶ丘中学校で一緒に授業を参観しましょう。都筑先生と生徒の皆さんが学びを創造していく授業を楽しみにしています。



～日程～

- ① 受付 13:00～13:20
- ② 公開授業（2年2組英語）
13:30～14:20
- ③ 開会行事 14:35～14:45
- ④ リフレクションとワーク
ショップ 14:45～16:20
- ⑤ 閉会行事 16:20～16:30